

# 認知症になっても自分らしく暮らし続けられるまちへ

認知症になっても住み慣れた土地で自分らしく暮らし続けられるよう、支援の輪、理解を広める取り組みが進んでいる。札幌市は、認知症当事者や付き添い関係者が気兼ねなく利用しやすくなるため、当事者に優しいまちづくりへ協力する店舗・医療機関等で掲示するステッカーを作製した。愛知県大府市は、見た目で分かりにくい当事者の見守り、援助につながりやすいよう「認知症ヘルプマーク」をデザインし、無償で全国自治体に利用を呼び掛けている。

## ◆札幌市

### 「やさしいお店・事業所」ステッカーを配布中

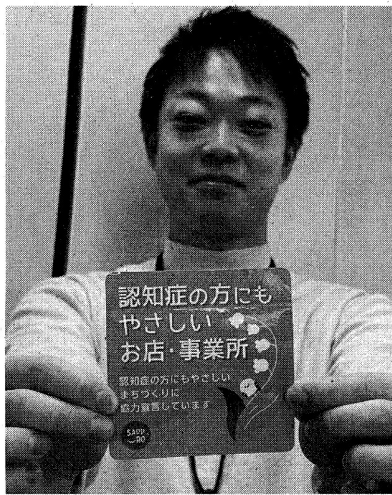
札幌市は認知症当事者ける。業所からの「認知症の方に理解のある市内店舗、活力ある共生社会実にもやさしいお店・事業施設などで活用してもらい、現、認知症になっても安所」登録申請を受け、スう「認知症の方にもやさしい」心して外出できるまちづくり推進に向けた取り組み、認知症への正しい理解を深し、やさしいお店・事業所ステッカーを交付する。認カードを作製し、無償配布。医療機関のほか、スめるよう努めるなど、市している。掲示店では、パーマケット、コンビニの「認知症の方にもやさしい」認知症の有無にかかわらず、ニエンスストア、理美容、しいまちづくり協力宣ず来店者にゆづくり、優室、飲食店、金融機関な言に賛同が要件。しく、丁寧な対応を心掛と市民に身近な店舗、事、出入り口、レジ付近と

象外。

認知症当事者へ接する際の心得も提供、適切な対応を促す。内容は「目録している。募集期限は「が合ったらゆづくり近づき、笑顔で対応」早口、大声、甲高い声は避け、ゆづくりはつきり返答する」など。

ろ▼日本郵便▼イオン北事業所は順次、市ホーム「医療従事者、介護職が海道▼札幌マドレーヌ本ページに掲載する。患者、利用者へ外出する際、店員の参考にして長田理恵認知症支援・際、店員の参考にして「もらえたり」と話している。募集期限は「介護予防担当課長は認知症当事者や家族に加え、新たな登録店・症当事者や家族に加え、

いった目立つ場所に掲示してもらい、認知症当事者、家族が抱える外出への不安を軽減する。介護事業所は、サポート体制が既に整っているため対応



店舗内に掲示してもらったステッカー